

大規模開発事業説明会開催結果報告書

22年 3月 18日

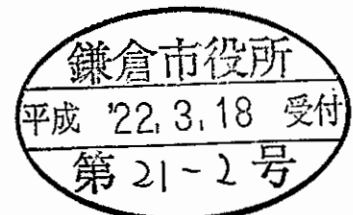
(あて先) 鎌倉市長

事業者 住所 鎌倉市岩瀬1420番地
 学校法人 鎌倉女子大学
 氏名 理事長 福井 一光
 電話 0467(44)211160
 住所 〒248-0032 鎌倉市津890番1
 代理人 株式会社 ホーゴ 技研
 氏名 代表取締役 松 居 建 治
 電話 電話 0467 (31) 4 3 2 3

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり報告します。

事業区域	地名地番	鎌倉市大船六丁目560番1ほか13筆
	面積	57,442.63 m ²
説明会の開催日時		22年 3月 13日 10時から
説明会の開催場所		鎌倉女子大学大船キャンパス実習室
説明会に参加した市民の人数		13 人
添付書類		<input checked="" type="checkbox"/> 市民への説明内容 <input checked="" type="checkbox"/> 説明に使用した資料 <input checked="" type="checkbox"/> 説明会で出された市民からの意見 <input checked="" type="checkbox"/> その他



鎌倉女子大学大船キャンパス学術研究棟増築計画

説明会議事録

開催日時 平成22年3月13日 (土) AM10時から
" 場所 鎌倉女子大学大船キャンパス実習室
事業者 学校法人 鎌倉女子大学

設計者 清水建設株式会社 一級建築士事務所
代理人 株式会社 ホーコー技研

出席者 参加住民 13名
鎌倉女子大学 4名
清水建設株式会社 一級建築士事務所 3名
株式会社ホーコー技研 1名

1、事業者挨拶 鎌倉女子大学 施設整備担当 (白木)

今回の学術研究棟増築計画に至った経緯及び必要理由について説明。

2. 計画の説明 清水建設株式会社一級建築士事務所 (大山)

計画内容については、パワーポイントにより建築物の規模、高さ、研究室数、各階の用途などを説明。

3、住民からのご意見及び回答

住民	ご意見等	回答
A氏	<p>(1) 民家側に階段があるが常時使用しますか</p> <p>(2) 工事車両の通行経路を説明された</p> <p>(3) 岩瀬側の道路を使用しますか</p>	<p>(大学) 非常階段なので緊急時のみの使用となります</p> <p>(清水) 敷地内よりメインアプローチを経て小袋谷笠間線へのルートが主となります</p> <p>(大学) 岩瀬側の出入り口(松竹1号橋)は岩瀬町内会との約束があり緊急時以外は使用しない</p> <p>なお、工事車両の通行等については、工事施工者が確定後皆様に説明します</p>
B氏	<p>(1) 工事車両の経路として小袋谷笠間線を使用するとのことですがイトーヨーカドーの松竹交差点付近が渋滞(平日の夕方と土、日)するので考慮してほしい</p>	<p>(大学) 小袋谷笠間線より三菱側へのルートを主として予定していますが岩瀬側へのルートを使用する場合は事前にご相談します</p>
C氏	<p>(1) 日影の影響がどのように発生するのか説明願います</p>	<p>(清水) パワーポイントにより現状の日影と計画建物による日影を説明</p>
D氏	<p>(1) 私の家の日影は春秋で何時頃から影響があるのか</p> <p>(2) 計画建物は民家に近いので西側への移動を要望します。また民家側の高さを3～4階に下げられないか検討願います</p> <p>(3) 建物を山側に寄せることは出来ないのか</p>	<p>(清水) パワーポイントにより説明 午後3時から影響が出ます</p> <p>(清水) ぎりぎりに絞った計画なので宜しくご理解賜りたいと思います</p> <p>(清水) 計画では崖下ぎりぎりに配置しています、山側に寄せるには東山斜面の切土工事が必要となり東山の保全に支障をきたすので無理と思われま</p>
E氏	<p>(1) 建物をアリーナ棟の方へ広げられないか</p>	<p>(清水) 東側に窓を作るようになり民家と向きあうようになるのでさげたい</p>

住 民	ご 意 見 等	回 答
F 氏	<p>(1) 計画建物は民家に近いので圧迫感があるので西側への移動を検討してほしい</p> <p>(2) 電波障害の影響はありますか調査をした資料は頂けますか</p> <p>(3) 今回の計画以外に計画がありますか</p> <p>(4) 家屋調査は行ないますか、調査したときはその資料をいただきたい</p>	<p>(清水) 東山の景観を守ることが重要と考えてこの案にしましたのでご理解を賜りたい</p> <p>(清水) パワーポイントにより机上計算の調査結果を説明 工事着手前と後の調査を実施し影響が出た場合は対応します 資料は提出します</p> <p>(大学) 将来のことは別として現在、計画はありません、ただしこの増築に伴い既存校舎の改修はございます</p> <p>(清水) 隣接家屋に関して工事着手前及び後実施します、調査資料は提出します</p>
D 氏	<p>(1) 太陽電池パネルを設置してあるが日影による影響がありますか</p>	<p>(清水) 今後、必要であればシュミレーションいたします</p>
G 氏	<p>(1) 計画建物の配置では民家に近くまた民家よりかなり高いので圧迫感があり、日影の影響もあるので建物をアリーナ棟の東側ラインまで西側への移動を要望します。</p>	<p>(大学) かなり絞った計画になっており困難なことと思いますが、行政手続を進める中でそれらのご意見をふまえて出来る限りの対応をしてみたいと思います</p>
H 氏	<p>(1) 行政手続の終了期間についてお知らせ下さい</p> <p>(2) 大学の学生数、教職員数をお知ください</p>	<p>(技研) まちづくり条例の手続の終了が7～8月になります、その後開発基準条例の手続に入りますその終了が12月ごろになります、その後建築確認申請を行い工事着手は来年春頃を予定しています。</p> <p>(大学) 平成21年度における学生数2619名、教員数117名、職員数65名です</p>

4、現地案内

現地に建物位置をカラコーンとテープにより示し、また建物の高さについては、山の樹木等を目視して説明

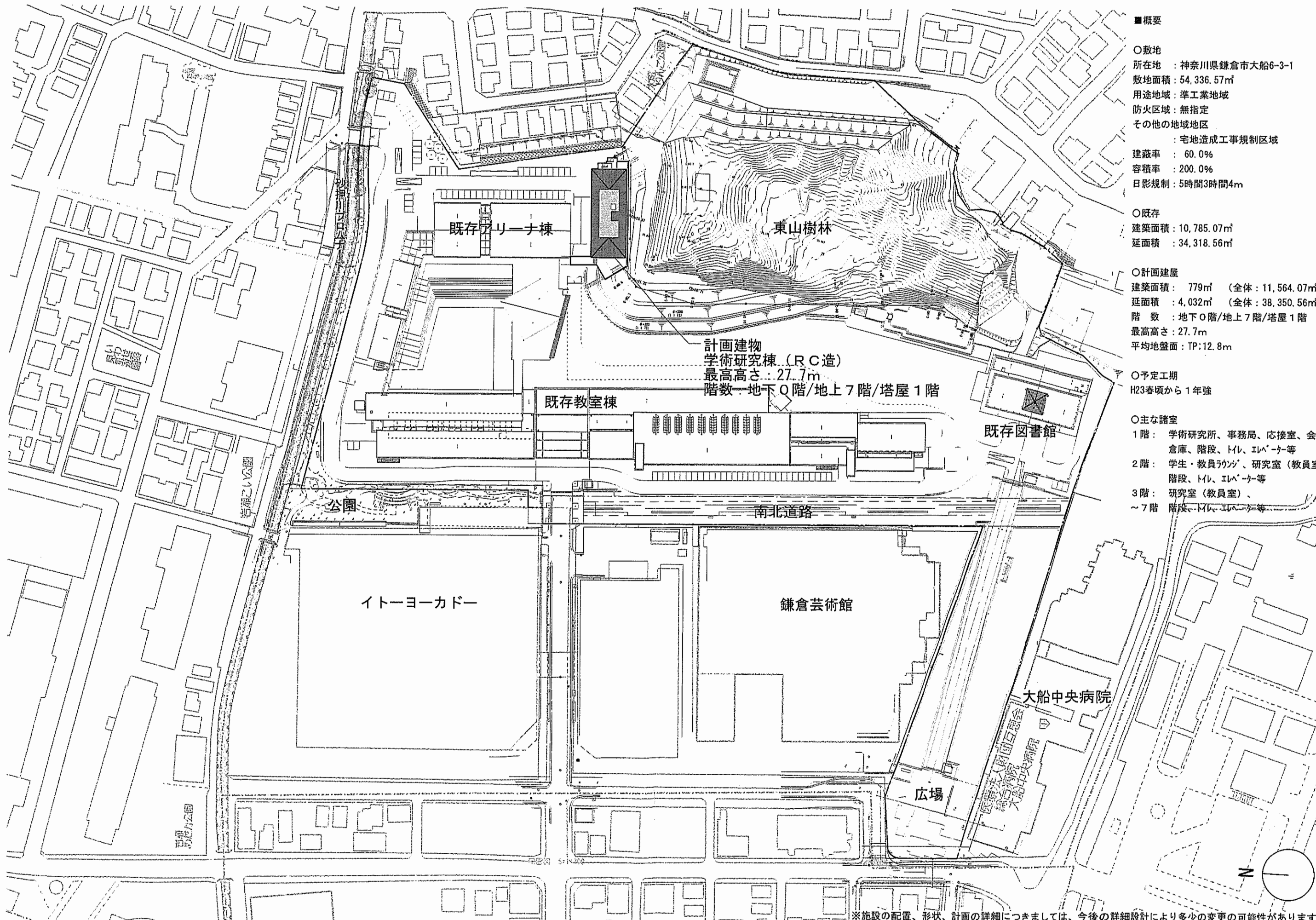
5、現地案内後のご意見及び回答

住 民	ご 意 見 等	回 答
C 氏 D 氏 F 氏 G 氏	現地を確認しましたがやはり建物が民家側に近いので先にお願ひしたとおり、アリーナ棟の東側ラインまで西側への移動を要望します。	(大学) 貴重なご意見ありがとうございます、先程も申したとおりこの計画はかなり絞りこんだ計画でさらにという形での対応がむずかしいという事情にあります、 本日の説明会は条例に基づくもので、この計画を皆様にを知らせするという席であり今後行政手続の中でいろいろとご意見を頂く機会もあり、また地域の協議会にもお諮りする経過もありますので、 その経過もふまえながら出来る限りの対応を図っていくよう努力させていただきます

6、終了の挨拶

7、住民出席者名簿。説明資料

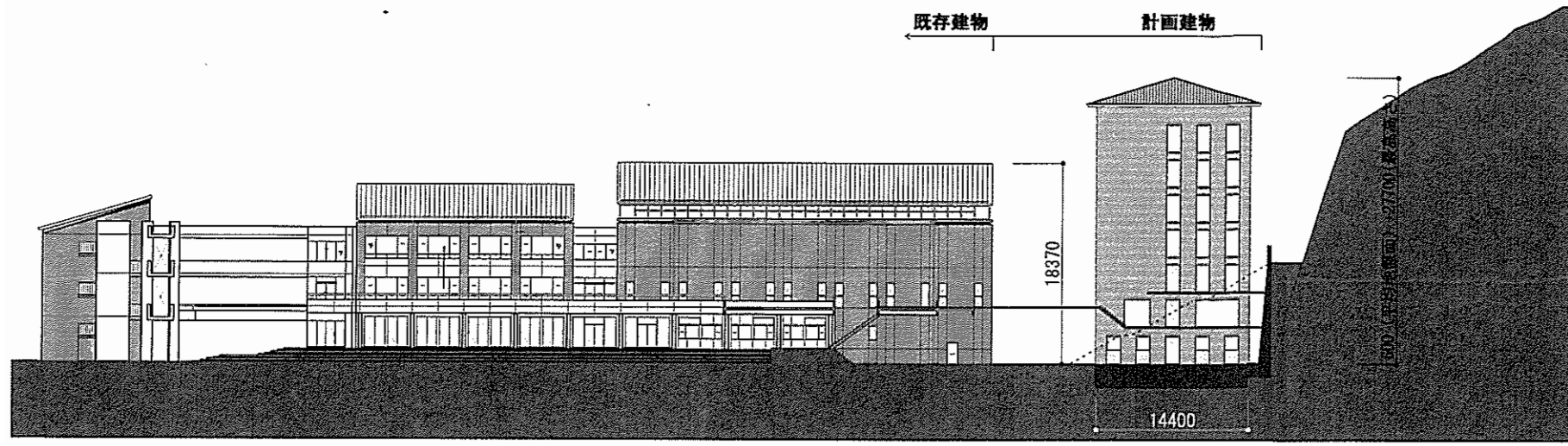
次頁より添付



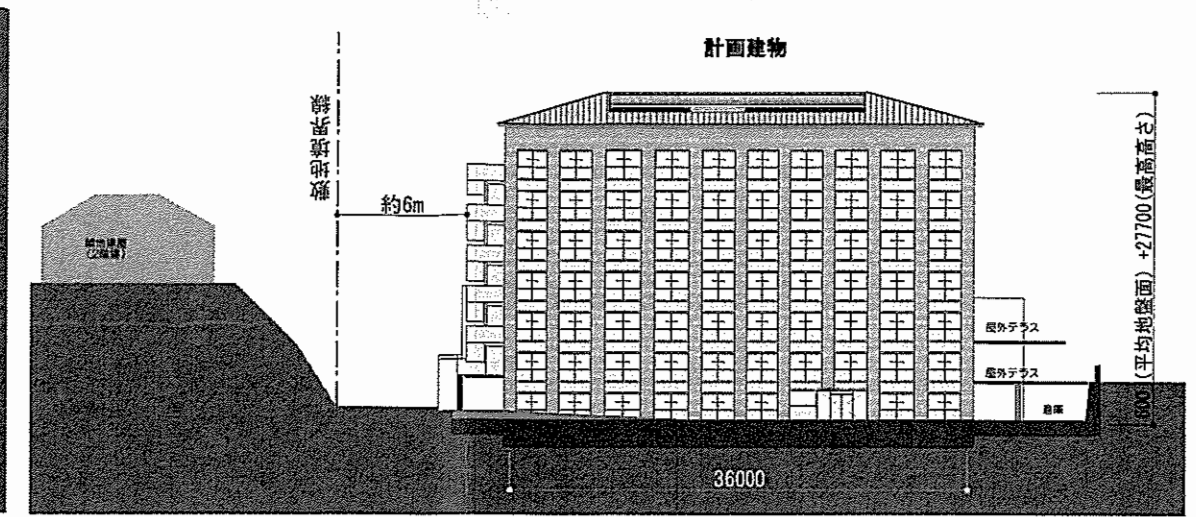
- 概要
- 敷地
所在地：神奈川県鎌倉市大船6-3-1
敷地面積：54,336.57㎡
用途地域：準工業地域
防火区域：無指定
その他の地域地区：宅地造成工事規制区域
建蔽率：60.0%
容積率：200.0%
日影規制：5時間3時間4m
- 既存
建築面積：10,785.07㎡
延面積：34,318.56㎡
- 計画建屋
建築面積：779㎡（全体：11,564.07㎡）
延面積：4,032㎡（全体：38,350.56㎡）
階数：地下0階/地上7階/塔屋1階
最高高さ：27.7m
平均地盤面：TP:12.8m
- 予定工期
H23春頃から1年強
- 主な諸室
1階：学術研究所、事務局、応接室、会議室、倉庫、階段、トイレ、エレベーター等
2階：学生・教員ラウンジ、研究室（教員室）、階段、トイレ、エレベーター等
3階：研究室（教員室）、
～7階 階段、トイレ、エレベーター等

計画建物
学術研究棟（RC造）
最高高さ：27.7m
階数：地下0階/地上7階/塔屋1階

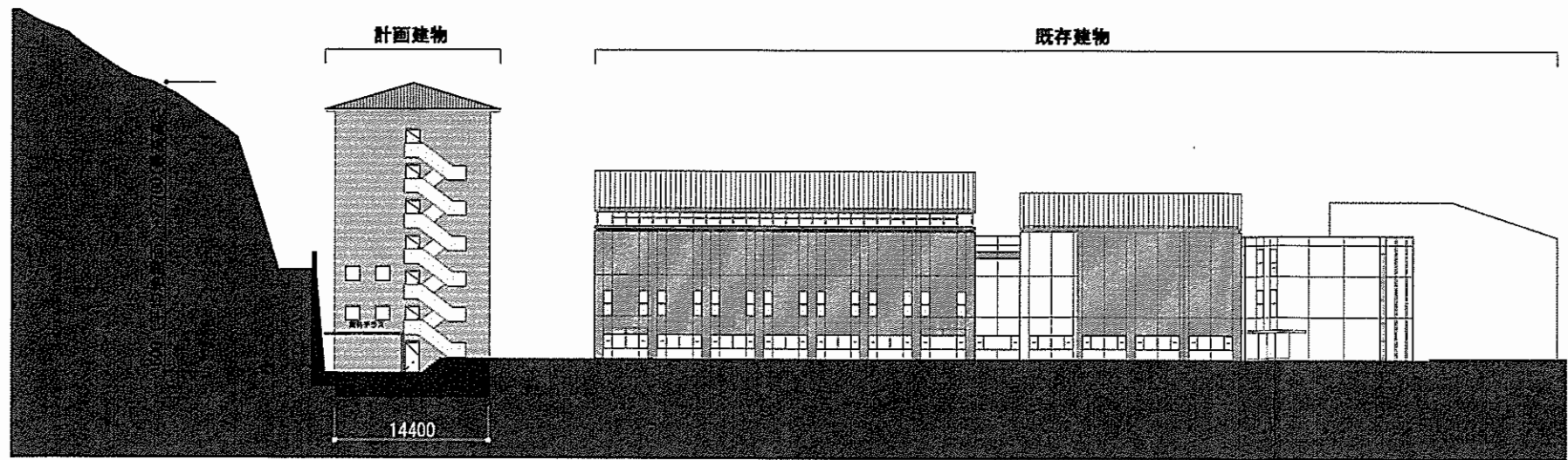
※施設の配置、形状、計画の詳細につきましては、今後の詳細設計により多少の変更の可能性があります。



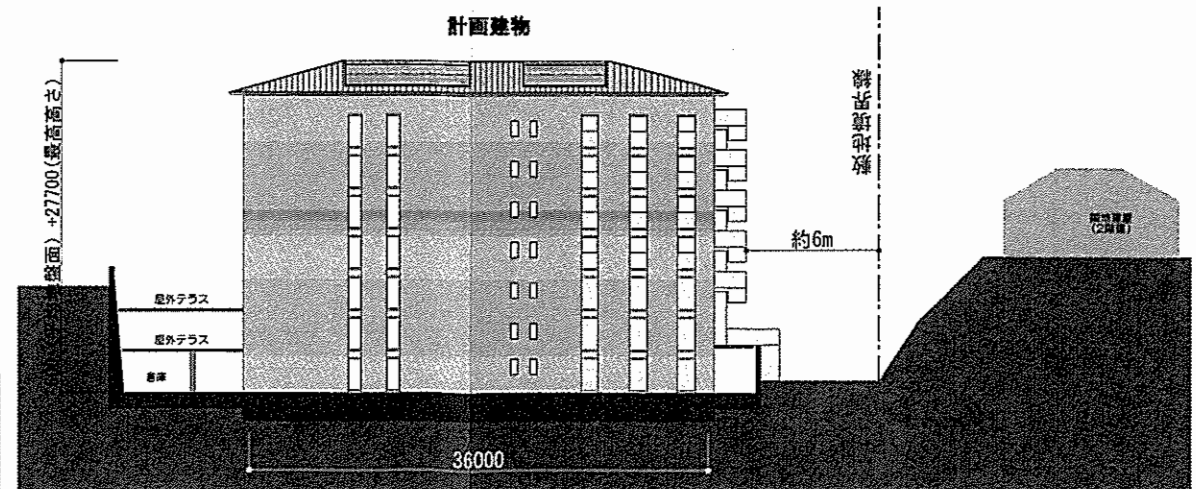
西側立面図



北側立面図



東側立面図



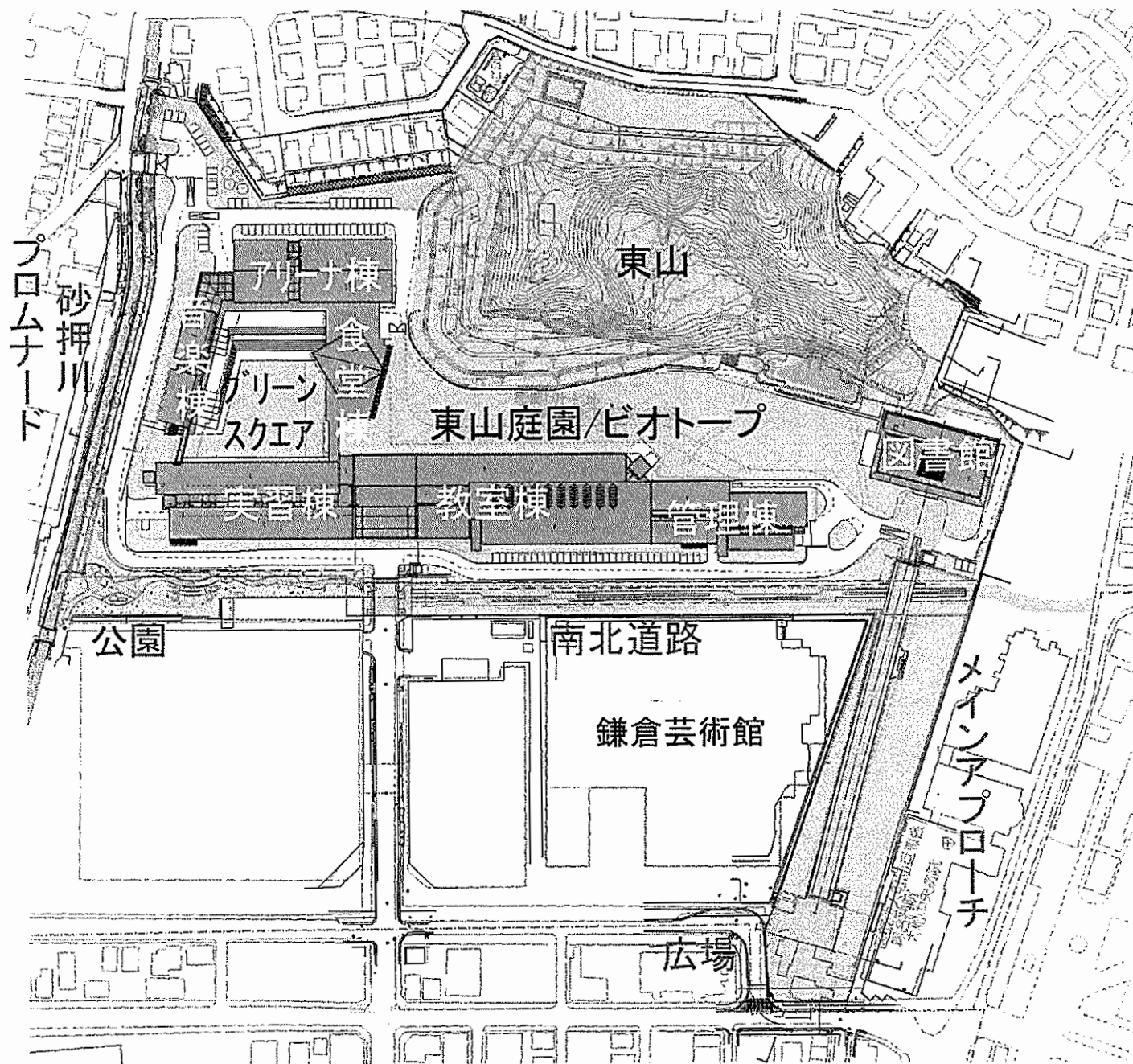
南側立面図



(仮称)鎌倉女子大学 学術研究棟 増築計画

事業主: 学校法人 鎌倉女子大学
設計者: 清水建設一級建築士事務所

緑豊かな 既存キャンパス



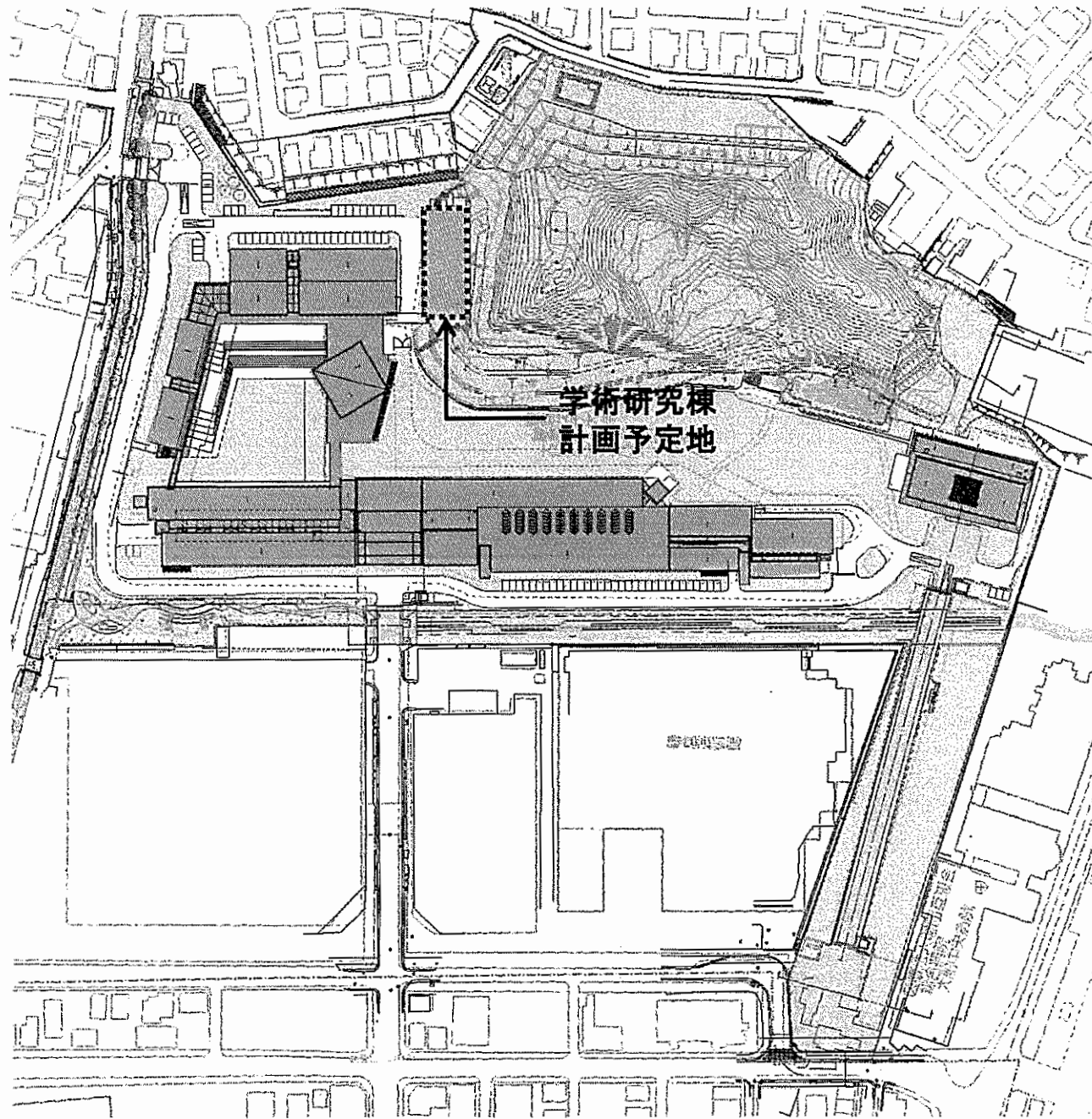
- 広場
- メインアプローチ
- 東山の緑地
- 東山庭園
- ビオトープ
- グリーンスクエア
- 南北道路
- 公園
- 砂押川プロムナード

■東山の景観の保全



■グリーンスクエア(芝生の広場)の設置





学術研究棟 概要

○敷地概要

敷地面積：54,336.57 m^2

用途地域：準工業地域

防火地域：無指定

○計画建屋

建築面積：779 m^2

延面積：4,032 m^2

階数：地下0階/

地上7階/

塔屋1階

最高高さ：27.7m

○予定工期

H23春頃から1年強

断面図

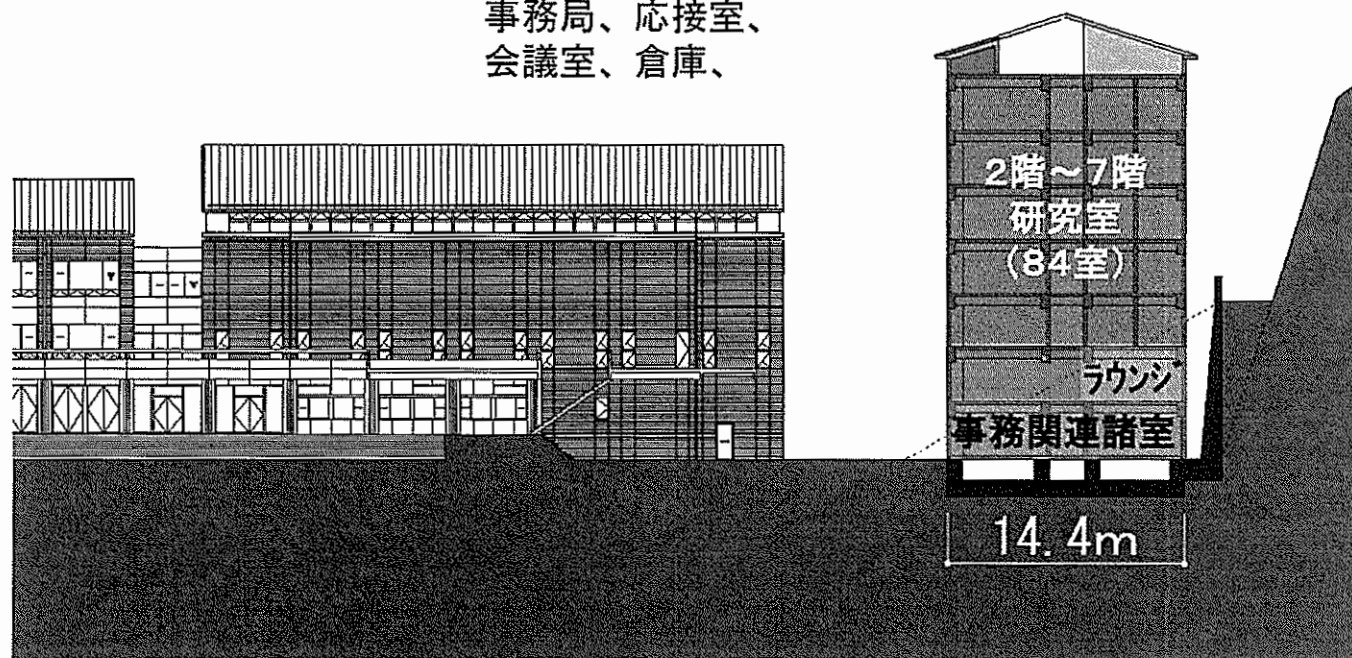
○主な諸室

3階： 研究室（教員室）

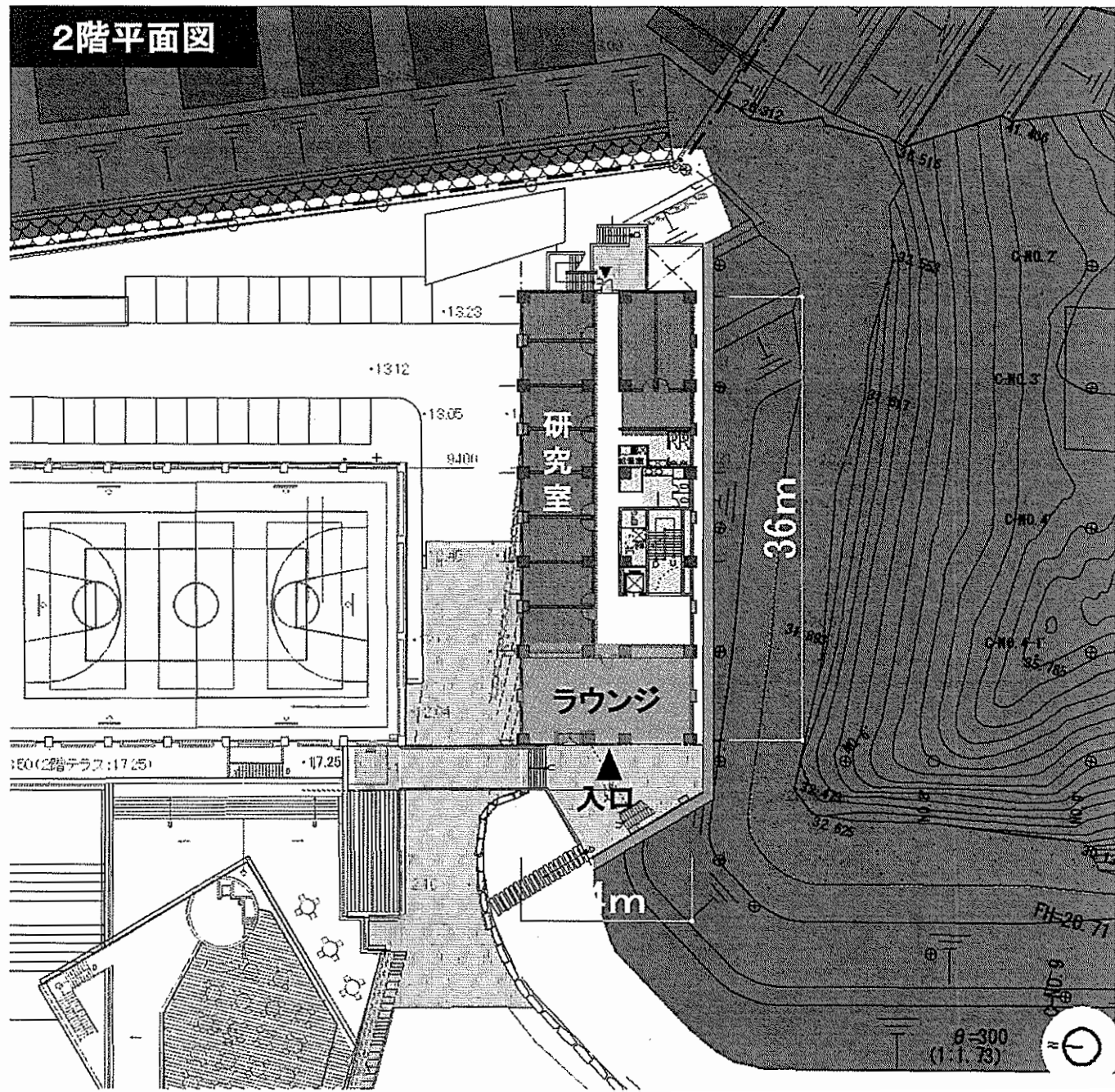
～7階

2階： 学生・教員ラウンジ、
研究室（教員室）

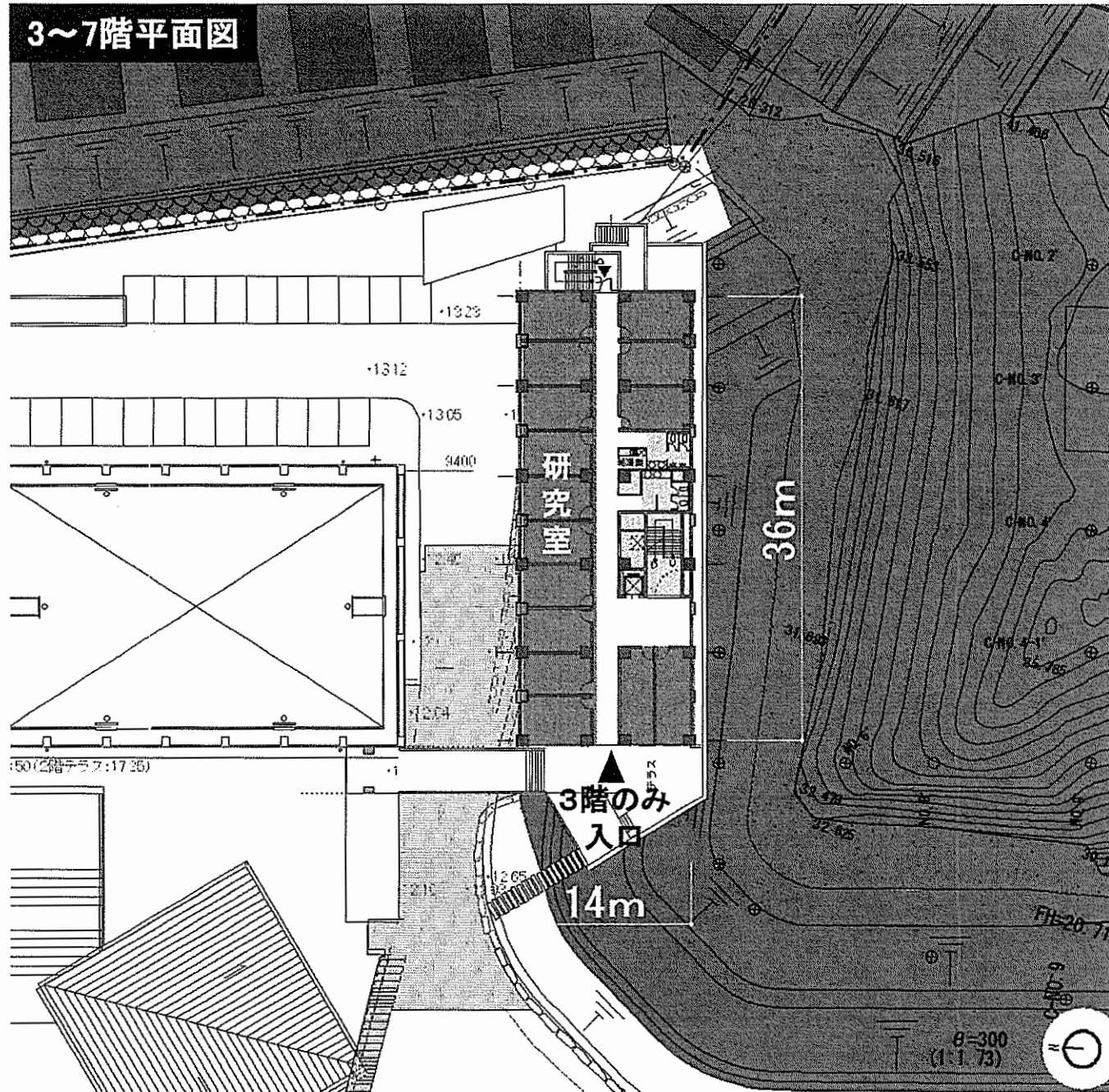
1階： 学術研究所、
事務局、応接室、
会議室、倉庫、

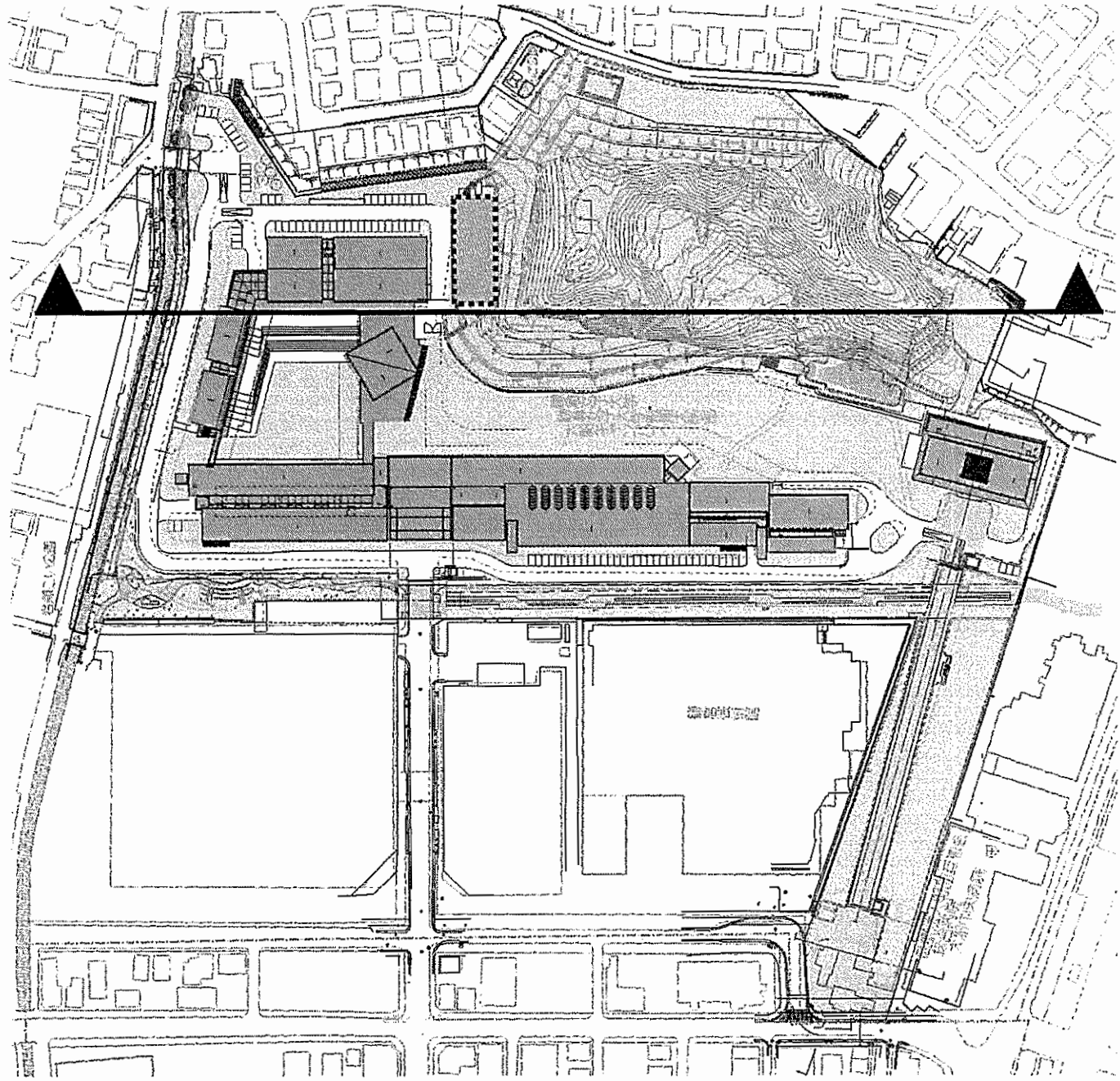


2階平面図

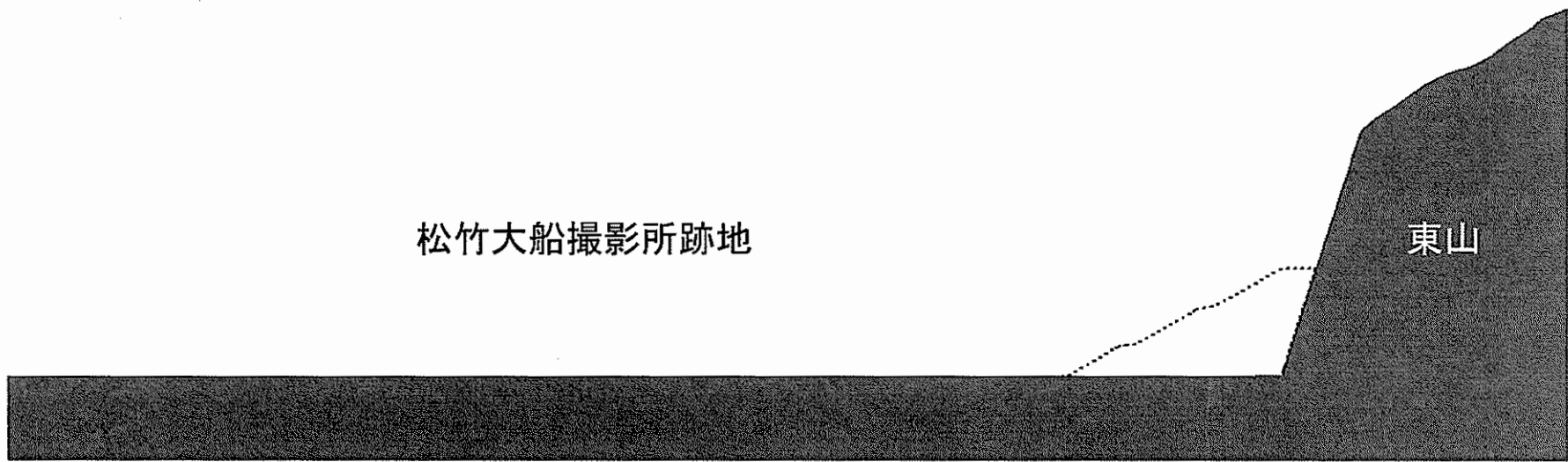


3~7階平面図





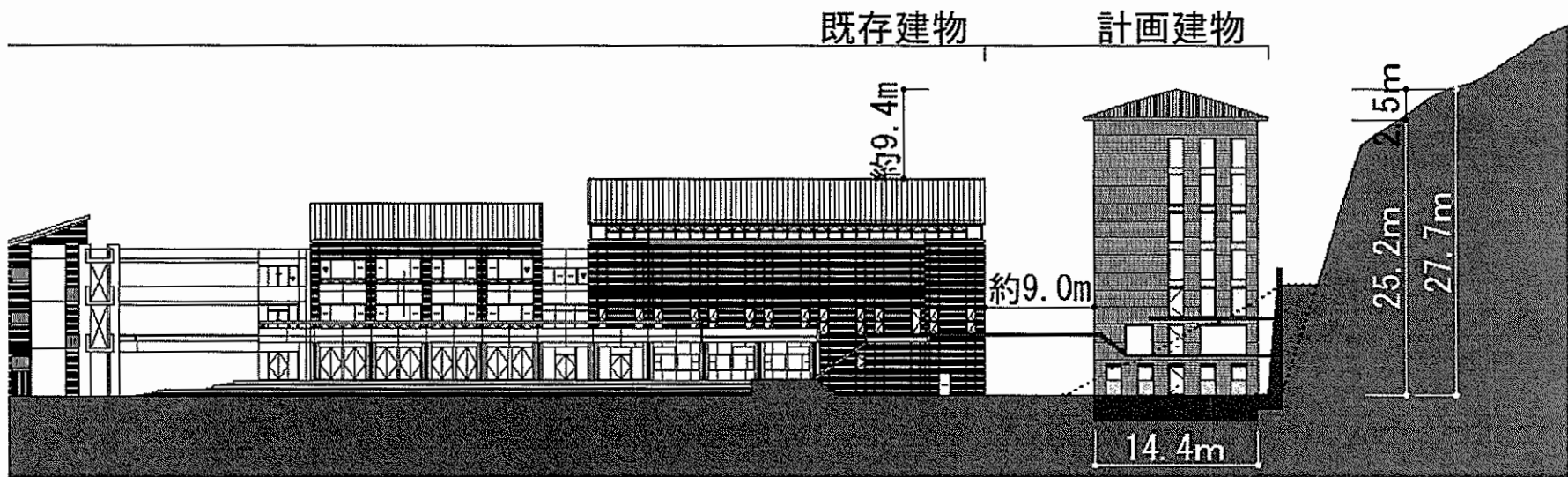
松竹大船撮影所跡地



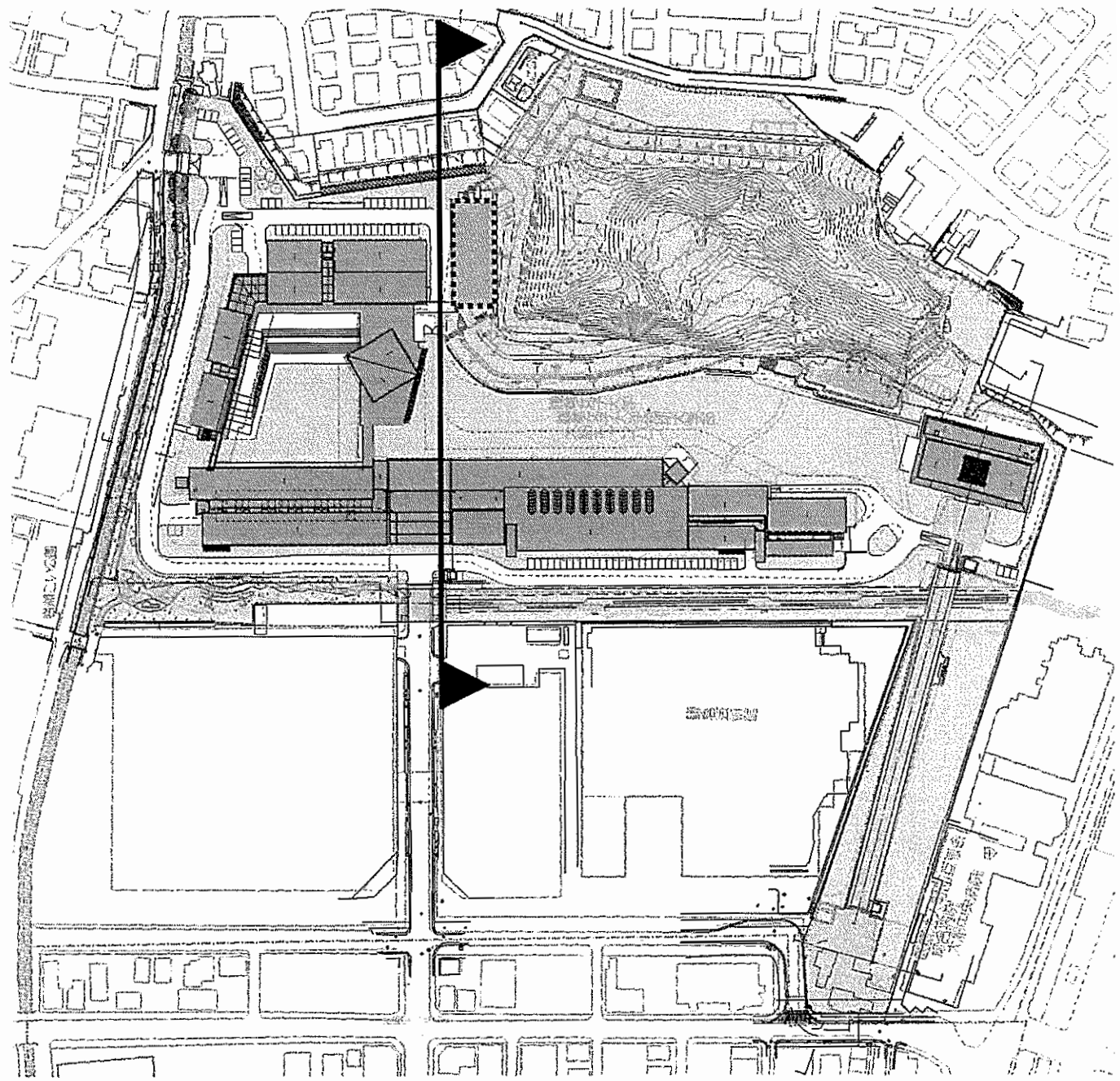
松竹大船撮影所跡地

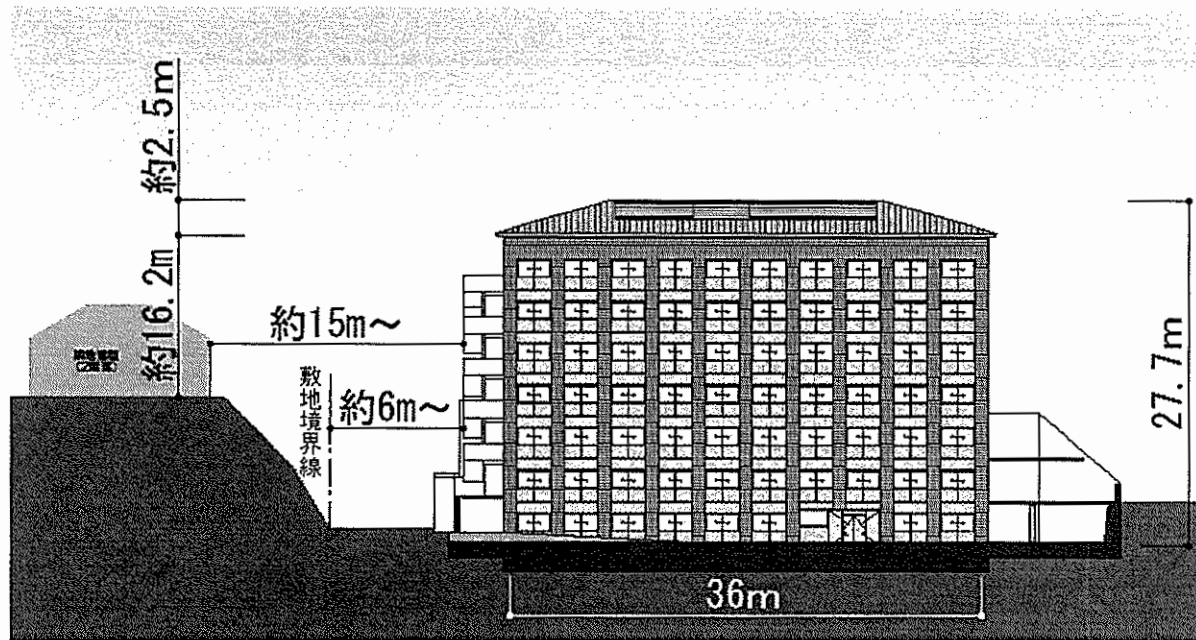
東山

松竹大船撮影所時代の形態
(東山庭園側)

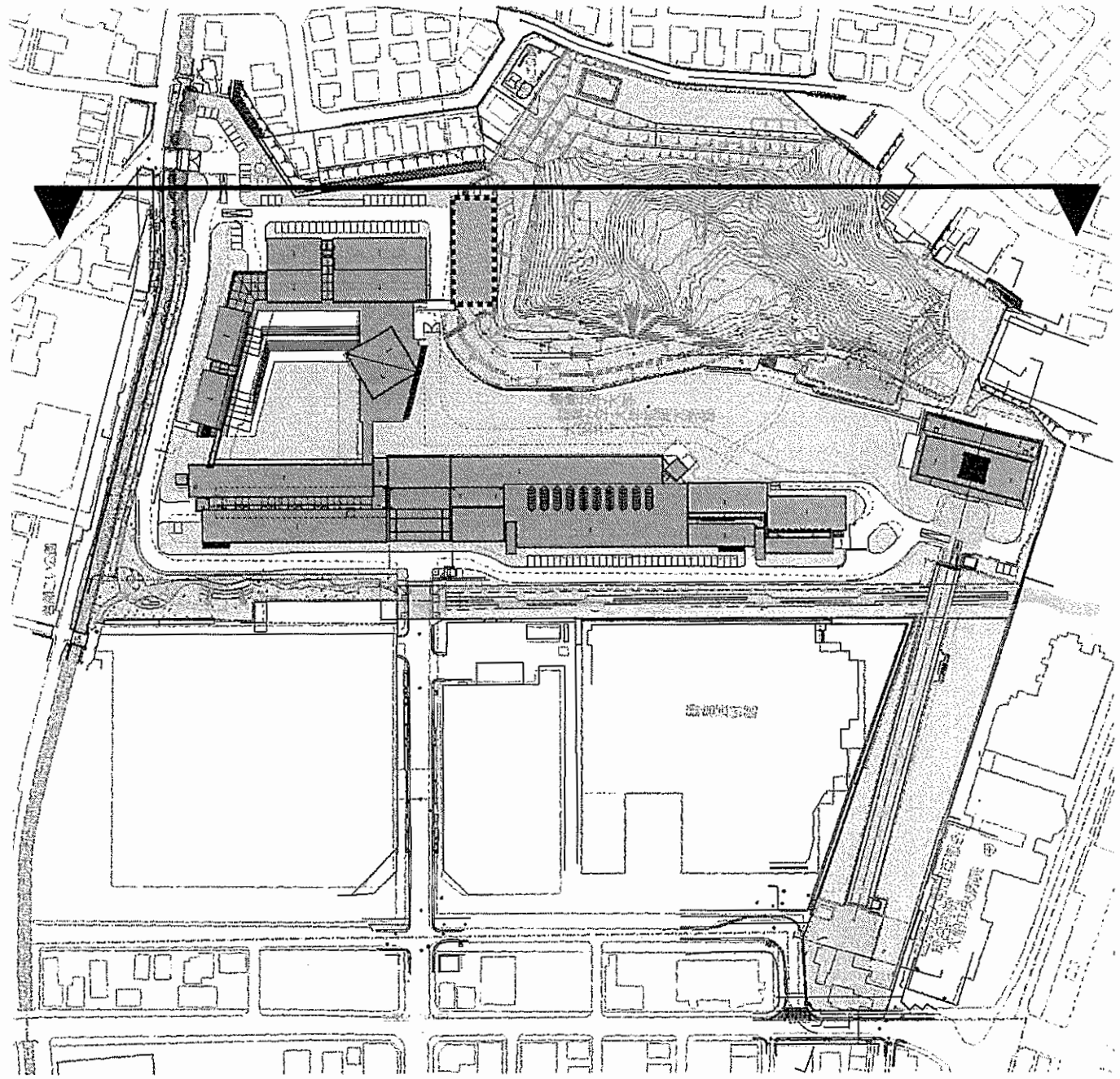


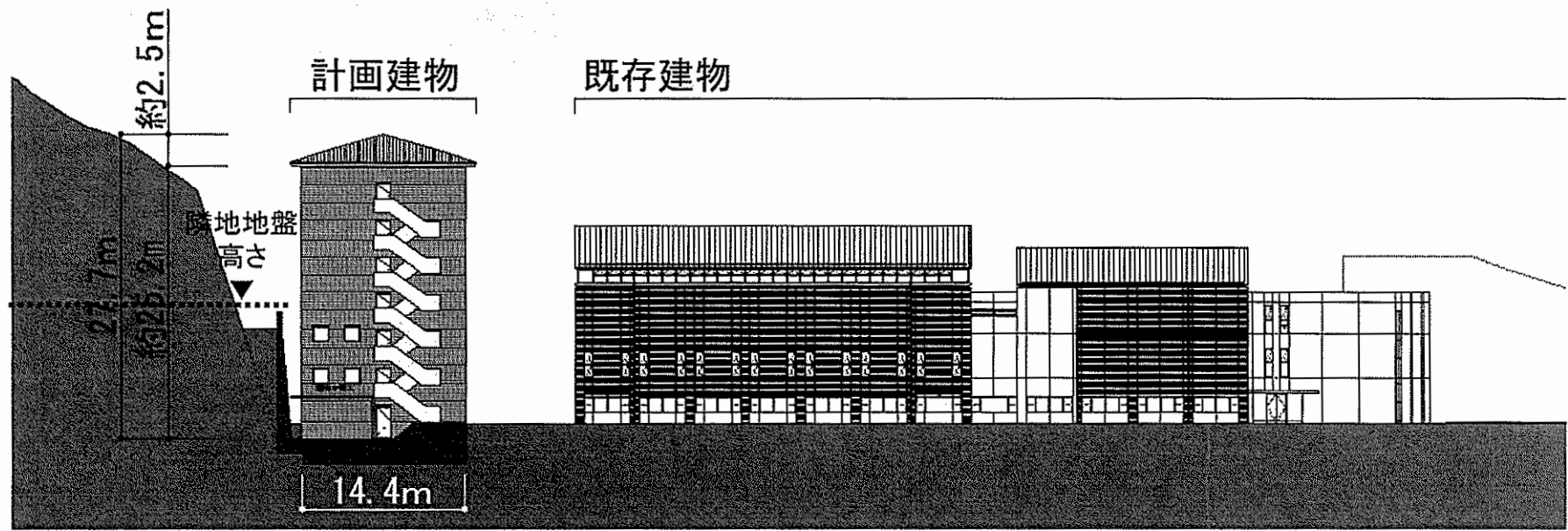
西側立面図
(東山庭園側)





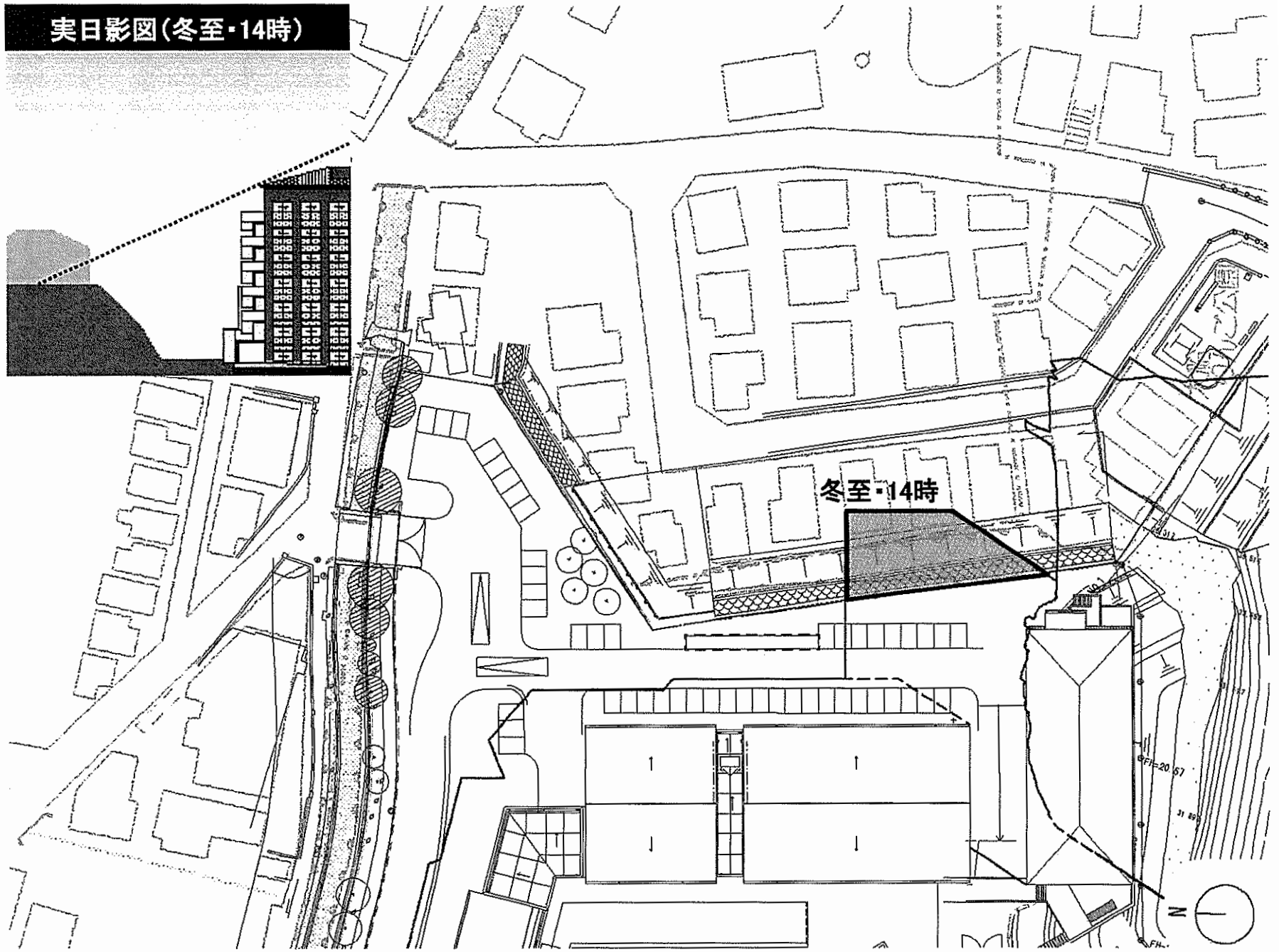
北側立面図
(アリーナ棟側)



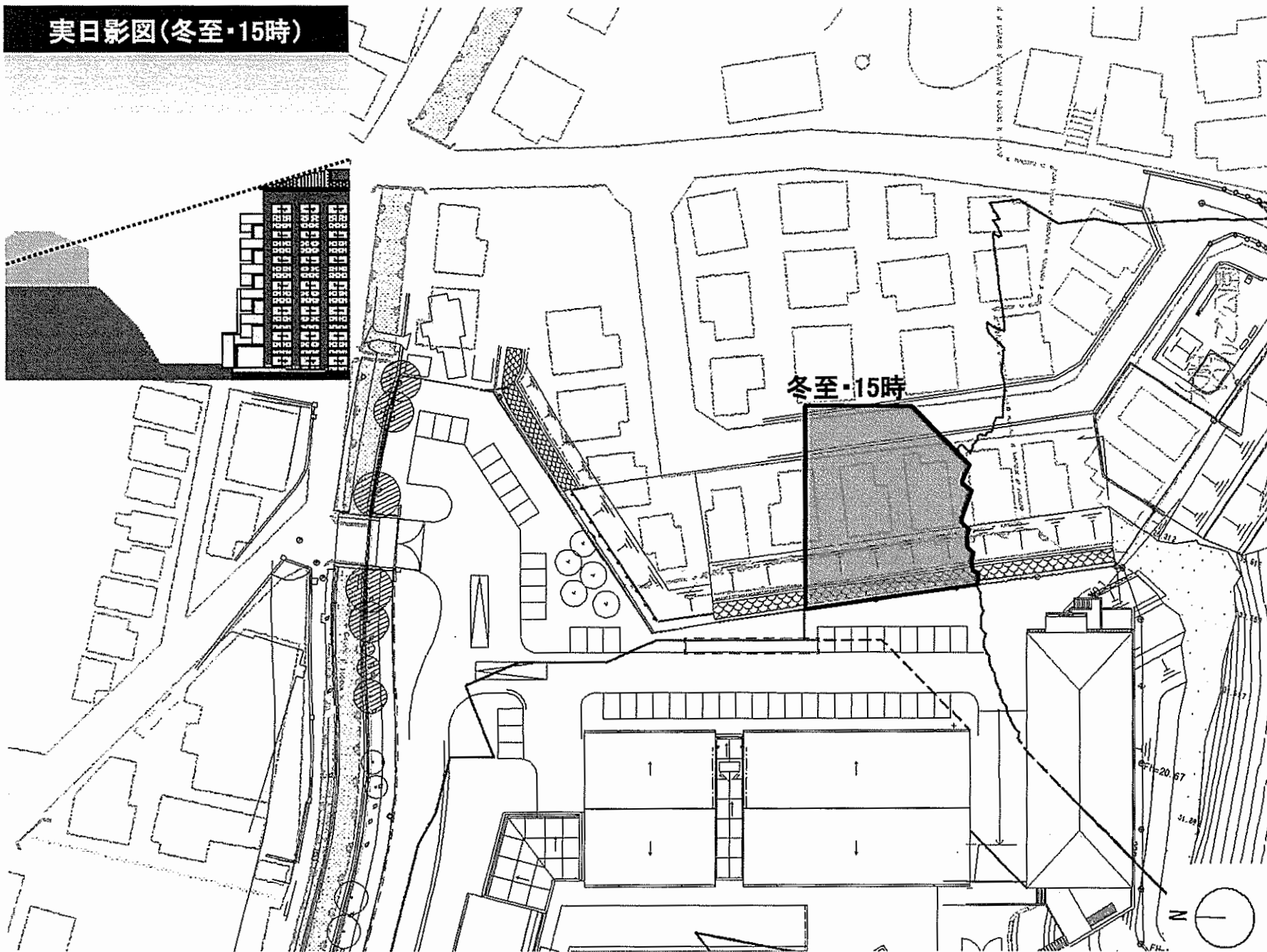


東側立面図
(住宅街側)

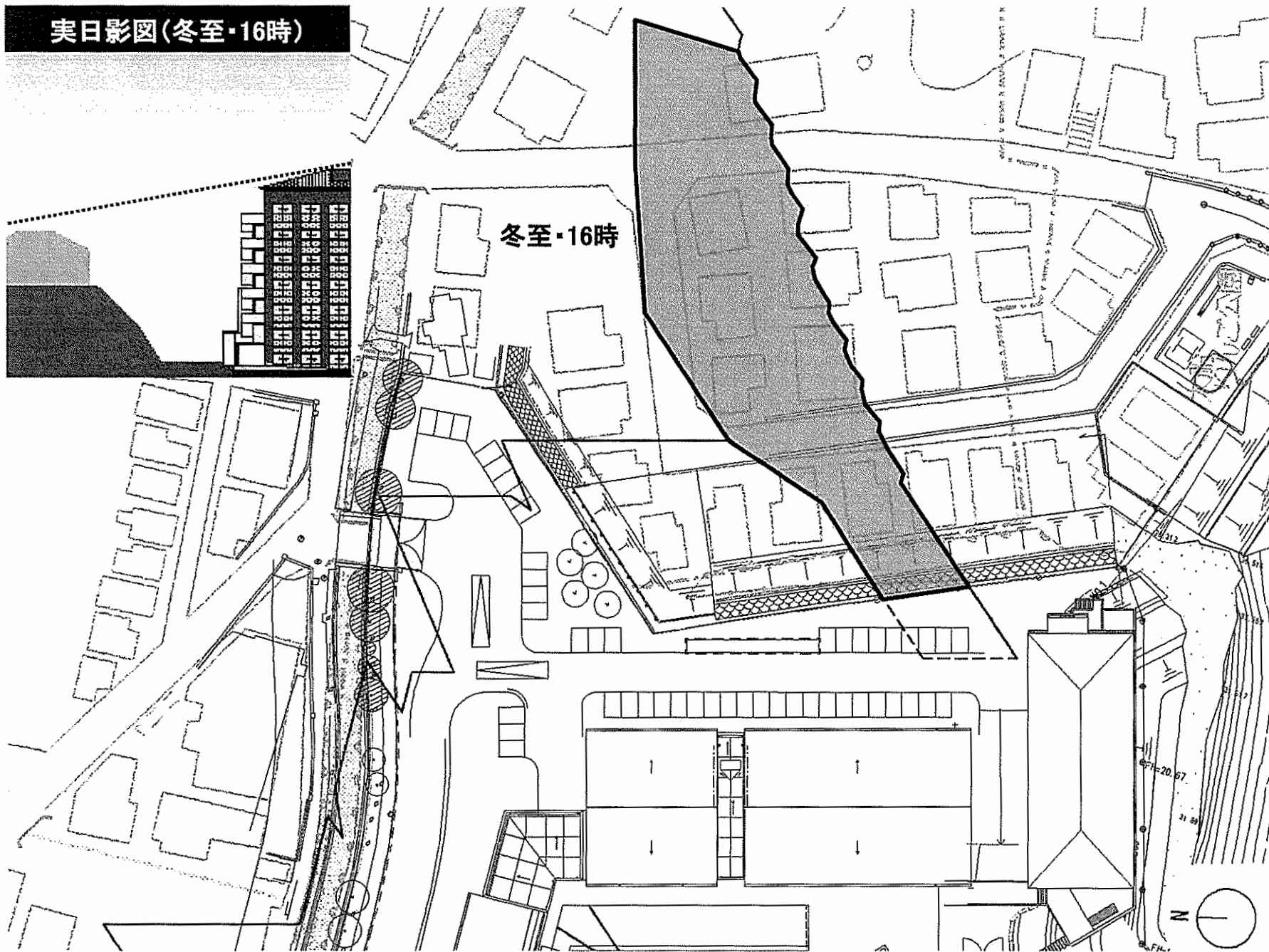
実日影図(冬至・14時)



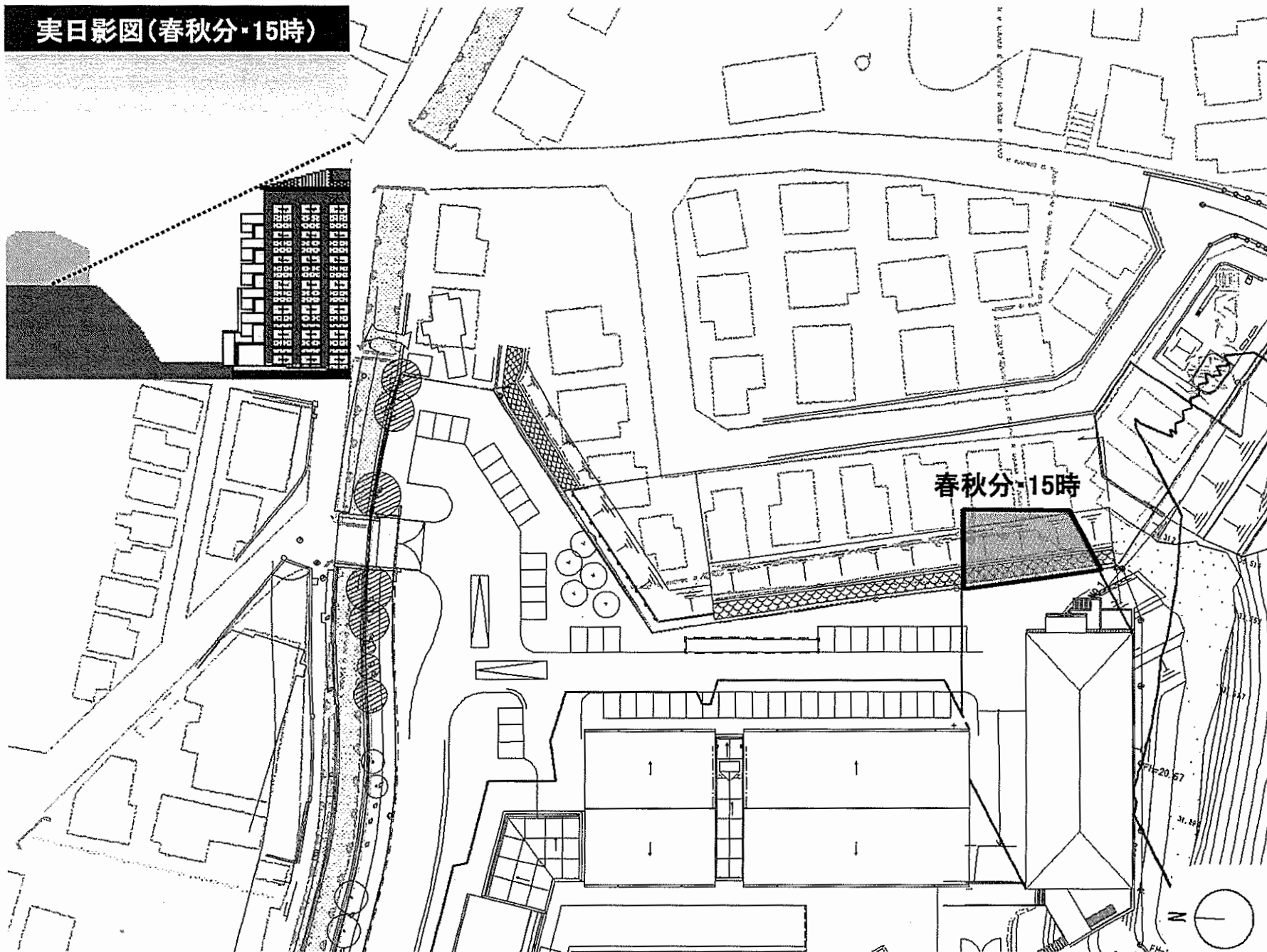
実日影図(冬至・15時)



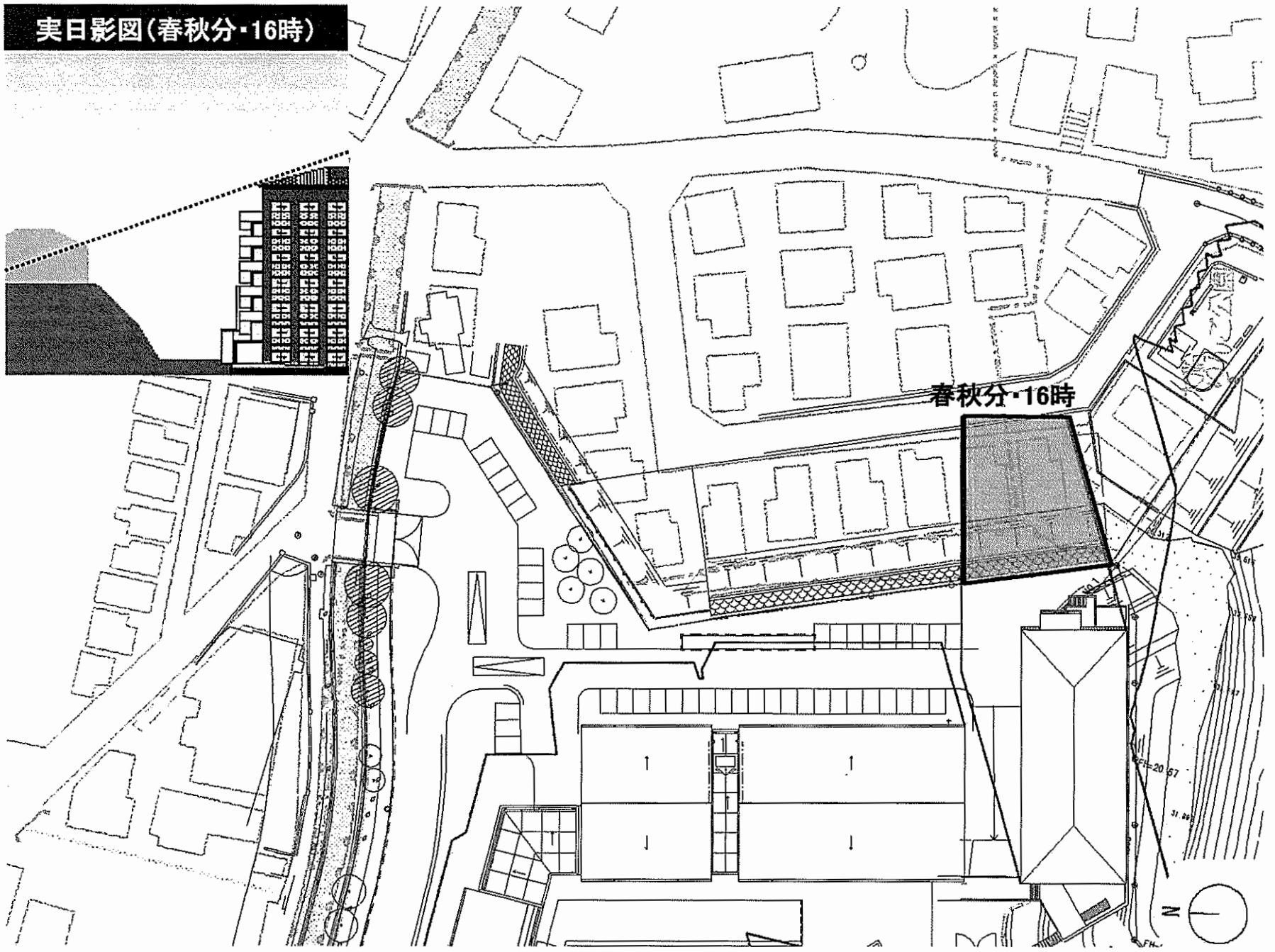
実日影図(冬至・16時)



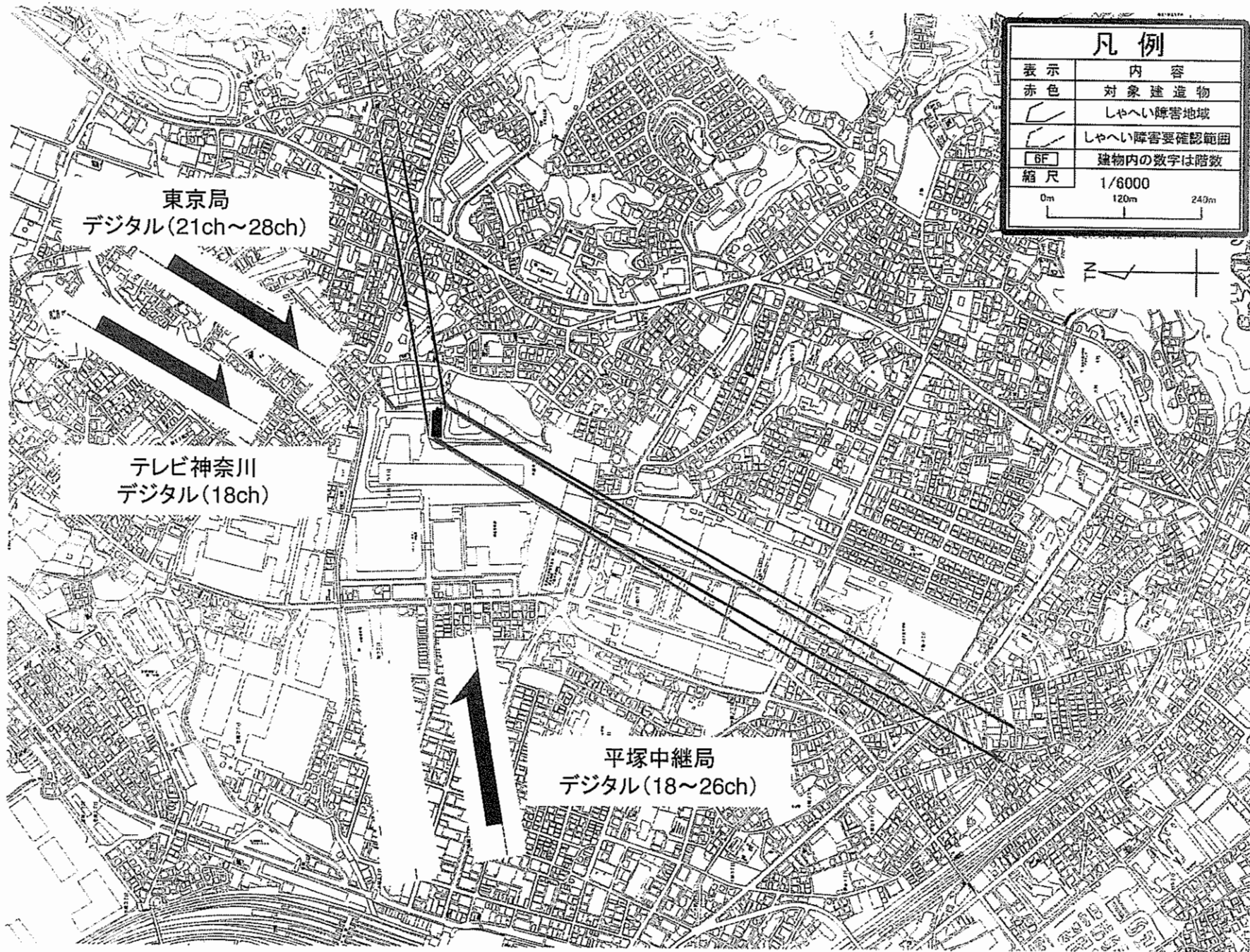
実日影図(春秋分・15時)



実日影図(春秋分・16時)



春秋分・16時



東京局
デジタル(21ch~28ch)

テレビ神奈川
デジタル(18ch)

平塚中継局
デジタル(18~26ch)

凡例

表示	内容
赤色	対象建築物
	しゃへい障害地域
	しゃへい障害要確認範囲
	建物内の数字は階数
縮尺	1/6000
	0m 120m 240m

